

ノリ養殖情報 第6号

平成29年11月6日（採苗16日後）
福岡県水産海洋技術センター有明海研究所

1 養殖概況

現在、河口域を除くほぼ全域で網の3枚展開作業が行われています。

11月3日開催の有明海漁連理事会で、アオノリ対策等の活性処理の使用期間は「11月8日から11月14日まで」と決定されました。

2 海況（6日満潮時・右表）

水温：平均19.5℃と、平年より0.5℃高めでした。

比重：平均21.9でした。

栄養塩：平均18.4マイクロ（ $\mu\text{g}\cdot\text{at}/\text{L}$ ）でした。

プランクトン：主な種類は珪藻（コシノディスカス等）と動物でした。

潮位：ほぼ潮汐表どおりでした。

3 今後の管理

- ・干潮が朝、夕となります。二次芽の着生促進と、アカ、ツボの感染のない健全な冷凍網の入庫に向けて、ノリ芽に十分な干出を与えてください。
- ・網の高さはハラで、7日以降は1.5m、カラマの峠となる12日には1.8mとなるよう徐々に網の高さを上げてください。乾燥過多・不足にならないように、天候によって網の高さを調節してください。

【アオノリ対策の活性処理について】

- ・アオノリの着生は22%の網で確認されましたが、着生量は少ない状況でした（2日の研究連合会ノリ芽検診結果）。
- ・アオノリの着生が多く認められる網のみ処理を行ってください。
- ・晴れの日にはアオノリの色の変化を見ながら処理を行ってください。
- ・処理液は再利用を行い、廃液は必ず陸上で処分してください。海上への投棄は厳禁です。

11月6日（旧暦18日）の海況

漁場名	調査点	水温 (°C)	比重	栄養塩 ($\mu\text{g}\cdot\text{at}/\text{L}$)	プランクトン (cc/100L)
4号	1	18.6	15.2	40.9	0.2
6(2)号	12	19.9	22.4	16.0	-
七つはぜ	11	19.5	22.3	16.4	0.2
よりあわせ	A	18.4	19.3	29.2	-
えどなかつ	2	18.7	21.6	21.6	-
にしのおつ	3	18.9	21.1	21.9	0.2
たかつ	4	19.5	22.1	17.0	-
せいどまり	B	19.2	21.5	19.4	0.1
13号	10	19.4	22.4	18.3	-
20号	9	19.6	22.7	17.3	0.2
24号	8	19.8	22.4	14.6	-
ひやっかん	5	19.8	23.1	15.8	0.2
22(1)号	6	20.1	22.6	14.4	-
25号	7	19.8	22.4	14.8	0.2
33号	16	19.8	22.9	14.9	-
43号	13	19.8	23.1	14.6	0.1
43号	14	19.8	22.9	14.5	-
44号	15	19.7	22.9	14.8	0.2
45号	C	19.8	23.5	13.4	-
平均		19.5	21.9	18.4	0.2

※プランクトン沈殿量は速報値です